社会科学習指導案

実　施　日　平成２３年１０月２１日
実施クラス　２年５組
授　業　者　池 下　誠

１　単元名　「日本の諸地域　関東地方　－持続可能な関東地方の在り方－」

２　単元設定の理由

新学習指導要領社会科の地理的分野では、「日本の諸地域」は日本をいくつかの地域に区分し、それらを「自然環境を中核とする考察」「歴史的背景を中核とする考察」「産業を中核とする考察」「環境問題や環境保全を中核とする考察」「人口や都市・村落を中核とする考察」「生活・文化を中核とする考察」「他地域との結び付きを中核とする考察」の７つの考察の仕方を通して、とらえさせることになっている。

関東地方は、日本の３分の１の人口が集中する我が国で最も人口の多い地方である。中でも東京を含む南関東には、その８割が集中し、日本の政治、経済、文化の中心としての重要な役割を担っている。そこで、関東地方を「人口や都市・村落を中核とする考察」として取り上げ、過密問題を中心に、関東地方や日本全体が持続可能であるためには、人口や都市・村落がどのようにあるべきかを、生徒に考えさせる学習指導を行うこととした。

３　単元の目標　新学習指導要領　ウ　日本の諸地域　関東地方（オ）人口や都市・村落を中核とした考察

（１）人口や都市・村落を中核的な事象とし、都市構造を中心に関東地方の地域的特色をとらえる。
（２）関東地方を「身近な地域の調査」と関連付けることによって、地域の特色や課題を見いだす。
（３）関東地方の地域的特色を身近な地理的事象から見いだすことによって、興味・関心をもつ。

４　単元の指導計画と評価計画（８時間扱い）

	主な学習活動	評価規準
第１時	関東地方をながめて	・身近な地域の地理的事象と関東地方の地理的事象とを結び付けられる。（関心・意欲・態度） ・関東地方の位置、地形、気候、人口、産業、結び付きなどの地理的概要をとらえる。（技能）
第２時	東京の都市機能と土地利用	・都市機能の集中や高度な土地利用から、人口との関連をとらえる。（技能） ・東京に一極集中している様子をとらえる。(思考･判断・表現)
第３時（本時）	集約的な土地利用が進む東京の中心部	・東京の都心部がどのような建物が多いかをとらえる。（技能） ・高層ビルの各階がどのように利用されているかを考える。（思考・判断・表現） ・東京の都心部が集約的な土地利用が進んでいることに気付く。（思考・判断・表現）
第４時	関東地方の人口問題	・人口過密の要因を他の事象と関連させながら考察し、適切に記述できる。（思考・判断･表現） ・東京大都市圏の人口学習を通して、人口増減の一般的共通性とともに、人口の基礎的概念を理解することができる。（知識･理解）
第５時	関東地方の過疎地域	・過疎化の要因を他の事象と関連させながら考察し、適切に記述できる。（思考･判断・表現） ・関東地方の過疎地域・島嶼地域の人口動態から、地域の変化の様子をとらえる。（技能）
第６時	工業の発展と地域の変容	・工業の発達について適切に考察し、記述している。（思考・判断・表現） ・工場の立地条件について、適切にとらえることができる。（思考・判断・表現） ・諸資料を的確に読み取り、事象の特色をワークシートに記述している。（技能）
第７時	近郊農業と都市化	・関東地方の農業の特色を環境や人口と結び付けてとらえ、持続可能な開発を意識して考察できる。（思考・判断・表現） ・新旧の地図の比較から、都市化や近郊農業の特色や課題を的確に見いだし、持続可能な開発と結び付けて考察できる。（思考・判断・表現）
第８時	関東地方のまとめ	・関東地方を、人口を中核として考察し、特色を的確に記述することができる。（思考・判断・表現） ・持続可能な開発の概念と結び付けて考察できる。（思考・判断・表現）

５　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

（１）人口や都市・村落を中核的な事象とし、都市構造を中心に関東地方の地域的特色を、地図などの非連続型テキストからとらえることができる。
（２）関東地方の地域の特色や課題を見いだすとともに、課題の解決策を班や学級全体の話合いを通して考えることができる。
（３）関東地方の地域的特色や課題の解決策を自分の言葉で表現することができる。

6　本時の授業

（１）本時のねらい

・東京の都心部がどのような土地利用になっているのかをとらえる。

・東京の都心部は、業務中心地区として高度に土地利用されていることをとらえる。

（２）本時の展開

	学 習 内 容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入 10分	・本時のねらいの確認 ・東京の都心部	・ワークシートのめあてを着色する。 ・東京の都心部の位置を確認させる。 ・東京の都心部の景観写真をみせる。	・ワークシートのめあてを確認する。 ・東京、渋谷、新宿、池袋を地図で確認する。 ・高層ビルが多い。鉄道が集中している。	・ワークシートのめあてを確認させる。 ・全員起立して、位置が分かったら着席させる。 ◎高層ビルが多いことをとらえさせる。　（技能） ［ワークシートの分析］
展 開 30分	・高層ビルが集中する都心部	☆なぜ都心部に高層ビルが多いのだろう ・新宿の高層ビルの各階が、どのように利用されているのか、調べさせる。 ・高層ビルの階ごとの利用状況の傾向をとらえよう。 ☆どうして、各階ごとに利用状況が異なっているのかを考えよう。	・政治や経済の中心が集まっている。 ・新宿の高層ビルの各階を、用途ごとに色分けしている。 ・地下に駐車場、低層階に店舗や飲食店、中層階がオフィス、高層階に会議室や飲食店などがある。 ・高層ビルが町のようになっている。 ・住む場所がない。 ・地下は車を駐車するのに便利。 ・低層階は、買い物や食事、医者などに便利 ・高層階は見晴らしがいいので、飲食店に適している。	◎都心部に高層ビルが多い理由を考えさせる。 （思考・判断・表現） ［ワークシートの分析］ ・凡例に従って、新宿の高層ビルの各階を、用途ごとに色分けさせる。 ・オフィスが多いこと、地下、低層階、中層階、高層階ごとに利用状況が異なっていることをとらえさせる。 ・高層ビルが一つの町のようになっていることに気付かせる。 ・高層ビルに住宅スペースがないことに気付かせる。 ◎各階が、なぜそのような土地利用になっているのかを考えさせる。 （思考・判断・表現） ［ワークシートの分析］ ・各階ごとにどう利用されているのかを理解させる。
まとめ 10	・本時のまとめ	・新宿の高層ビルが、どのような土地利用になっているのかをとらえよう。	・新宿の高層ビルが、高度に集約的な土地利用になっていることに気付く。	・新宿の高層ビルが、効率的な土地利用がされていることに気付かせる。

7　本時の板書計画

3. 集約的な土地利用が進む東京の中心部

めあて・東京の都心部の土地利用をとらえよう。

◎東京の都心部

東京駅、渋谷、新宿、池袋

・高層ビルが集中
・多くの鉄道が集中
・地下街が発達

→ 買い物、仕事、学校に便利

↓

多くの人が集まる

↓

オフィス街、商店街、劇場街として発達

↓

地価が高騰

↓

集約的な土地利用が進む

高層ビル、地下街が発達